

2019年度 文化・芸術活動に優れた者の特別選抜入学試験
2019年度 スポーツ能力に優れた者の特別選抜入学試験
「国際関係学部」

【文芸】

学科・専攻	志願者数	1次 合格者数	最終合格者 数
国際関係学科国際関係学専攻	1	1	1
国際関係学科グローバル・スタディーズ専攻	0		0
アメリカン大学・立命館大学国際連携学科	0		0
計	1	1	1

【スポーツ】

学科・専攻	志願者数	1次 合格者数	最終合格者 数
国際関係学科国際関係学専攻	3	3	3
国際関係学科グローバル・スタディーズ専攻	0		0
アメリカン大学・立命館大学国際連携学科	0		0
計	3	3	3

【選考講評】

1. 実施状況

事前に準備した英文を提示し、一定時間を与えた後、音読・和訳をしてもらう。必要に応じて面接者が助言を与える。志願者全員に実施した。

2. 試験内容

英文和訳（国際連合についての解説文を使用した）。

3. 出題意図

基礎的な英語力があるかどうか、また国際関係への関心を有しているかどうかの確認をする。

4. 評価ポイント

基本的な語彙力、文法が理解できているかどうかを評価する。

5. 解答状況

平易な英文であり、高校生には難しい単語も一部含まれていたが、すべての受験生がとくに単語の意味などの質問をすることなく、英文の大意を理解できていた。

6. 次年度以降の受験生へのアドバイス

高校における基礎的なレベルの語彙力、文法知識を習得しておくこと。また、英文の内容を簡単に要約したり、説明したりする練習もしておくことよい。また、国際関係・政治・経済・文化への関心を持ち、国際関係学部でどのようなことを学びたいかを明確にしてほしい。

7. 進学指導上の留意点（主に高校教員向けの入試指導上のポイント）

国際関係学部では、入学後も、国際関係への関心を持って課題に取り組み、継続的に英語をはじめとする外国語能力の向上に努めることが求められます。

以 上